

平成27年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 京都府域首長会議（トップセミナー）の開催

～洪水時の情報提供や今後の防災対応への取組について首長と意見交換～

～ 淀川河川事務所 ～

先般の平成27年9月関東・東北豪雨により、各地において浸水被害等が発生し、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約1万1千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

この水害を受け、「淀川管内水害に強い地域づくり協議会 京都府域首長会議（トップセミナー）」を開催し、淀川水系想定浸水区域内の京都府域内の市町の首長と、洪水時の情報提供や避難判断など、今後の防災対応への取組について意見交換を行いました。

概要

対象河川：淀川水系宇治川、桂川、木津川

- 開催日時：平成27年11月11日（水）10:00～11:30
- 開催場所：京都平安ホテル 平安の間
- 参加機関：京都府域の沿川14市町
京都府建設交通部及び各土木事務所、京都地方气象台、
国土地理院、水資源機構、近畿地方整備局河川部、
淀川ダム統合管理事務所、淀川河川事務所



首長が避難勧告発令の目安となる「はん濫危険水位」など河川管理者が出す情報の活用を確認したうえで、淀川水系の河川が危険となる状況を想定し、避難に視点を果たした「タイムライン」を来年の出水期までにまとめていくために意見交換を行いました。

【確認内容】

- ① 関東・東北豪雨に係る被害及び復旧状況
- ② 淀川水系（直轄京都府域）の「桂川上流域」、「宇治川中上流域」、「三川合流域」、「桂川中流・木津川中上流域」のそれぞれの水位上昇について特徴と課題を提示
- ③ 自治体が、適切なタイミングと対象範囲に避難勧告等が発令できるよう、自治体ごとに避難勧告等の発令の目安となる水位を提供することを提案

【その他の報告内容】

- ・ ハザードマップポータルサイト、浸水ナビについて（国土地理院）
- ・ 平成25年台風18号における淀川水系ダム群の操作について（淀川ダム統合管理事務所）



【首長からの主なご意見】

- ・ タイムラインの整備も重要だが、まず、堤防から河川水が溢れないようハード整備を進めてほしい。
- ・ 避難勧告等を判断できる情報が自治体ごとにほしい。
- ・ 山間地域では治水だけでなく、治山や土石流にも注意が必要であり、地域の実情を加味したタイムラインを作成していかないといけない。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191
大阪府枚方市新町2-2-1
TEL 072-843-2861



報道

以下の報道機関に記事等を取り上げられました。

- 京都新聞
11月12日(木)朝刊

